

## STEP1

### バックアップする機器を選定します。

#### 負荷機器に最適な給電方式

- ・ 常時商用給電方式  
パソコン、POS端末、ネットワーク機器
- ・ ラインインタラクティブ方式  
IAサーバ、POS端末、ネットワーク機器
- ・ 常時インバータ給電方式  
IA/UNIXサーバ、スーパーコンピュータ、ストレージ、  
ネットワーク機器、FA/産業機器

## STEP2

### バックアップする機器の最大消費電力のW(ワット)とVA(ボルトアンペア)を確認します。

バックアップ対象機器のカタログやホームページに記載されている仕様書からお調べください。

①機器の表示がW(ワット)だけの場合

$$VA(ボルトアンペア) = W(ワット) \div \text{力率}$$

②機器の表示がVA(ボルトアンペア)だけの場合

$$W(ワット) = VA(ボルトアンペア) \times \text{力率}$$

③機器の表示がV(ボルト)、A(アンペア)の場合

$$VA(ボルトアンペア) = V(ボルト) \times A(アンペア)$$

②より、W(ワット)を計算します。

$$W(ワット) = VA(ボルトアンペア) \times \text{力率}$$

[負荷機器の力率例]

コンピュータ・ディスプレイ	0.6~0.7
サーバ(高力率タイプ)	1.0

## STEP3

### 必要なバックアップ時間を確認します。

大きめの容量を選定したり、拡張バッテリーを追加することで幅広いバックアップ時間を選定することができます。

## STEP4

### 消費電力、バックアップ時間、形状から最適な機種を選定します。

容量(VA/W)及びバックアップ時間はUPS選定条件より大きいタイプを選定ください。

### 【選定例】

ラックmountサーバ  
(高力率タイプ)

ディスプレイ

ネットワーク機器  
(ルータ)

300W

150VA

100V、1.5A

①より

$$300W \div 1.0 = 300VA$$

$$300VA \div 300W$$

②より

$$150VA \times 0.7 = 105W$$

$$150VA \div 105W$$

③より

$$100V \times 1.5A = 150VA$$

②より、

$$W(ワット) \text{を計算します。}$$

$$150VA \times 0.7 = 105W$$

$$150VA \div 105W$$

合計

$$300VA + 150VA + 150VA = 600VA$$

$$300W + 105W + 105W = 510W$$

必要なバックアップ時間 5分

UPS選定条件

給電方式…ラインインタラクティブ方式

形状…ラックmountタイプ

容量…600VA/510W

バックアップ時間…5分

選定UPS

型番…YUMIC-SLA010R

給電方式…ラインインタラクティブ方式

形状…ラックmountタイプ

容量…1000VA/670W

バックアップ時間…約8分